

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		教育学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202,203
担 当 教 員		西本厚栄	実務経験と その関連資格	教育学修士、大学校副学校長			
《科目目標》							
看護師にとって教育学を学ぶ重要性を理解し、臨床での患者・家族指導につながる知識と技術を修得する。							
《成績評価の方法と基準》							
【評価方法】演習成果・レポート60％、終講試験40％ 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
ナーシンググラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メディカ出版							
《授業外における学習方法》							
※授業以外での準備学習の具体的な内容を参照							
《履修に当たっての留意点》							
本科目では健康指導の場面で活用できる指導の基本を学ぶ。領域別の患者指導につなげられるように学ぶ。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育の意義が理解できる		資料 プロジェクター	本日の学びを復習しておく	
		各コマにおける授業予定	1. 教育とは 教えることと学ぶこと 2. 人間にとって教育の重要性 3. 生涯にわたる教育(生涯学習社会を生きる)				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の発達と学習の原理が理解できる		資料 プロジェクター	本日の学びを復習しておく	
		各コマにおける授業予定	1. 自我発達 2. 認知能力の発達 3. 対人関係能力の発達 4. 学習理論				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	指導の基本①指導の設計が理解できる		資料 プロジェクター	本日の学びを復習しておく 指導対象を選定	
		各コマにおける授業予定	1. 指導の三要素 2. 学習目標の設定 3. 指導方法の選択 4. 教材の準備				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	指導の基本②指導の効果的な実施について理解できる		資料 プロジェクター	三観作成 指導計画案作成	
		各コマにおける授業予定	1. 指導の進め方(導入 展開 まとめ) 2. コミュニケーション技法 3. 学習の評価				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近な人への健康指導を計画し実施できる		資料 プロジェクター	指導計画案の修正	

5 回	義 形 式	各コマに おける 授業予定	1. 健康指導する対象を設定 2. 目標を設定 3. 健康指導計画を立案 4. 計画に基づき実施、評価	資料 プロジェクター	指導計画を修正する。
授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	身近な人への健康指導を評価し発表できる	資料 プロジェクター	指導計画に沿って実施した健康指導の実践と評価を当日発表する。後日にレポートを指定した提出日時に提出する。
		各コマに おける 授業予定	1. 健康指導を実施しての評価 2. 計画した健康指導・評価をまとめ発表		
第 7 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	身近な人への健康指導を評価し発表できる	資料 プロジェクター	指導計画に沿って実施した健康指導の実践と評価を当日発表する。後日にレポートを指定した提出日時に提出する。
		各コマに おける 授業予定	1. 健康指導を実施しての評価 2. 計画した健康指導・評価をまとめ発表		
第 8 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	終講試験		
		各コマに おける 授業予定	終講試験		